

会員の皆様へ

令和8年4月30日
赤塚番匠免町会
会長 曾根田吉佐



「日赤募金活動」のお知らせ

気象庁が最高気温40℃以上の日の名称を「酷暑日(こくしょび)」とすることを決定しました。先が思いやられるこのごろですが、この5月も最高気温25℃以上の「夏日」が続く見込みで、まだ身体が暑さに慣れていないこの時期、会員の皆様には、急な気温の上昇で体調を崩さないようにご注意ください。

さて、4月18日の定期総会において令和8年度の事業計画が承認され、赤塚番匠免町会の活動が新しくスタートしました。

現在のところ、班長さんのご努力と会員の皆様のご協力で町会費納付および名簿作成の活動が行われており、5月16日(土)17日(日)にはご提出いただく予定となっております。さらに、5月23日(土)には「春のクリーン作戦」が実施されます。

その後、6月1日(土)から30日(日)までの期間には「日赤募金活動」が実施されます。集められた募金は日赤募金に限らず赤い羽根共同募金にも充てられます。あらためて皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

班長さん方には募金箱を持って各家庭を回っていただくこととなります。また、部長さん方には、募金をとりまとめて担当副会長までお届けいただくこととなります。町会費納付、名簿作成に続いてお手数をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。

日赤募金活動要領

- ①募金期間 6月1日(月)～6月30日(火)
- ②募金方法 班長さんが各会員宅に「募金箱」を携えて訪問し、募金を募ります
「募金箱」は5月23日(土)の部長会で各部長さんにお預けいたします
その後、部内班長さんに順次手渡されます
「募金箱」は、班長さん→部長さん→担当副会長の経路で回収します
7月8日までに副会長に届きますようご協力ください

日本赤十字社は、世界191の国と地域に広がる赤十字・赤新月社の一社であり、西南戦争における負傷者救護で初めての活動を行って以来、国内外における災害救護をはじめ、苦しむ人を救うために幅広い分野で活動しています。

国内の災害においては、医師や看護師などで構成される救護班の派遣、毛布や日用品セットなどの救援物資も配付、義援金の受け付け、被災者への配分などの活動を行います。また、被災者の精神的なサポートをするこころのケア活動、情報収集や炊き出しなど防災ボランティア活動も行います。

また、昨年年6月にパキスタン全土で発生した大規模な洪水や今年2月以来続いているイラン及び周辺国の人道危機に対応して救援金を集め、現地の救援活動を支援しています。

皆様の善意に基づく支援・義援活動がこれらの活動を支えます。募金活動へのご参加を是非お願いいたします。

下のQRコードから災害時の赤十字活動と活動資金の使い道の解説がご覧になれます

